

報道関係者各位

**おうち透析(腹膜透析)を支えるヴァンティブ、宮崎工場で地域清掃と避難訓練を実施
～地域貢献と患者さんの安心・安全のための取り組みを強化～**

株式会社ヴァンティブ(本社:東京都港区、代表取締役社長:河野行成、以下「ヴァンティブ」)は、35 周年を迎えた宮崎工場において、地域の皆さまへの感謝を込めた清掃活動と、災害時における安全確保を目的とした防火・避難訓練を実施いたしました。全国のおうち透析※1(腹膜透析)患者さんの安心・安全を日々支える同工場の社員が、緊急時にも迅速かつ確実に防火行動および避難できるよう訓練を重ねるとともに、地域社会への貢献活動を継続してまいります。



宮崎工場周辺での清掃活動



避難訓練の様子



火災を想定した避難訓練では、新入社員が実際に消火器を使用した訓練を行い、災害時の対応力に磨きをかけました。避難訓練後には、社員が協力して工場周辺の清掃活動を実施し、軽トラック1台分のゴミを回収。この清掃活動は、4 年前に社員の提案から始まったもので、地域への感謝を形にする取り組みとして今後も恒例行事として続けていく予定です。

株式会社ヴァンティブ 代表取締役社長 河野行成 コメント

宮崎市との「災害時における包括連携協定」の締結を経て、宮崎工場は地域の防災拠点として重要な役割を担っています。地域の皆さまの安心と信頼に応えるべく、社員一丸となって取り組んでまいります。

Vantive について

Vantive は世界中の患者さんおよび医療者の「人生に寄り添い、希望の未来へ」導くことをミッションとして掲げる、生命維持に重要な臓器療法を提供する企業です。70 年にわたり腎臓ケアにおけるイノベーションを推進してまいりました。現在では、Vantive の社員、製品およびサービスは日々100 万人を超える世界中の患者さんとのタッチポイントを有しています。私たちは歴史を基盤としながら、デジタルソリューションと高度なサービスを通じた透析の治療体験向上、そして腎臓ケアのその先を見据えた生命維持に重要な臓器療法への変革に注力します。患者さんをケアする医療者の治療管理の柔軟性と効率性の向上と共に、患者さんのより長く、より充実した人生の実現への貢献を目指しています。

ヴァンティブ宮崎工場について

「おうち透析(腹膜透析)」の治療で使われる透析液は宮崎工場で製造し、全国の患者さんのご自宅まで直接お届けしています。また、治療に使用する医療機器の管理・修理は専任の日本人スタッフがを行い、24 時間 365 日の電話によるサポートを行うことで患者さんの安心・安全な治療環境を支援しています。2025 年 8 月には、宮崎工場 35 周年を記念して宮崎市との災害時包括連携協定を結び、地域の防災拠点としての機能を備えています。数年前から秋には地域の方々に工場を解放し、医療者による腎臓ケアの学びや市民と社員によるステージショーなどの交流の機会を提供し、地域社会の未来を灯す場となっています。

※1 おうち透析、通院透析:ヴァンティブは在宅での治療となる腹膜透析および在宅血液透析をより多くの患者さんに認知いただくために「おうち透析」と名付けました。それに対し、医療機関など施設に通院して行う透析を「通院透析」としています。「おうち透析(腹膜透析)」を含む治療選択肢については、疾患啓発ウェブサイト「[いっしょに考える腎臓病](#)」、および YouTube「[透析病院ドットコム](#)」をご覧ください。なお、「おうち透析(腹膜透析)」を含む腎不全治療の選択肢について相談できるお近くの病院は[こちらから検索](#)できます。

【問い合わせ先】

株式会社ヴァンティブ 広報部 japan.shs.communication@vantive.com